

【学校教育目標】 自分をのばす児童の育成

学校経営理念

**TEAM Building**

「子供たちの成長のために協働する学校」

めざす学校像

- 一人一人の個性と主体性が生かされ、子供の笑顔が輝く学校
- 全員が元気に過ごす学校
- 規律と秩序を大切にする学校
- 学び合いを大切にする学校

めざす児童像

- 正しい行動ができる子供
- 心と体をきたえる子供
- 進んで学ぶ子供

めざす教師像

- 使命感と情熱をもち、主体的に学び続ける教職員
- 豊かな人権感覚をもち、夢を子供に語れる教職員
- 互いを尊重し合い、高め合う教職員

児童会

【スローガン】

みんなが当たり前を  
レベルアップしていく  
松高小学校  
～あいさつ・メリハリ・  
自分から～

校内研修

【研究主題】自分とともにほかの人の  
よさを認め、大切にしよう児童の育成  
～児童一人一人が安心して過ごせる基盤づくりを通して～

- ①生徒指導4つの視点を生かした学級集団づくりや基盤づくり
- ②生徒指導4つの視点を踏まえた教科指導と生徒指導を一体化した授業づくり

教職員の資質向上（研究と修養「日々研鑽」）

- ・「姿勢・技術・知識」をバランスよくもつための研修
- ・課題の早期発見とチーム対応（コミュニケーション）
- ・校務の効率化のための学校DXの取組（働き方改革）
- ※職員が元気に過ごすことは、子供たちのためになる

【学校教育目標→“子供たちの成長”を  
目指して職務に当たるチーム松高

- ・学校・学年部・部会等、「チーム」として子供たちと向き合い、一人一人の職員が力（良さ）を最大限に発揮する。
- ・児童一人一人のよさを伸ばし、社会的資質を伸ばす生徒指導
- ・保護者との連携

【重点的に育成を目指す資質・能力】＝ 「忍耐強くやり遂げようとする力」「共感する力」

豊かな心の育成

○自己存在感の育成

- 自己肯定感と自己有用感の向上
- ・進んで行う気持ちのよい挨拶
- ・スリッパ並べや靴並べ
- ・きまり・時間を守る
- ・異年齢交流、体験活動
- ・考え、議論する道徳の実践

確かな学力の育成

○能動的に学び続ける力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- ・児童が主体となる授業づくり
- ・学習規範の育成
- ・教科担任制（5、6年）
- ・特別支援教育の充実
- ・「授業改善ステップワン」の実践

たくましい心身の育成

○基本的な生活習慣の確立

- 健康維持を意識した生活習慣の形成
- ・早寝早起き朝ご飯
- ・教科体育の充実
- ・外遊びの推奨による体力向上

やつしろプランの充実  
「学力向上やつしろプラン」「不登校対策やつしろプラン」

情報の共有化。i-check分析と活用・教育評価の活用

八代型小中一貫・連携教育の充実  
「やつしろスピリッツ」（あいさつ・ききかた・そろえかた）を基盤に、六校園での取組

安心・安全な学校

- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく早期発見、迅速かつ組織的な対応
- ・「愛の1・2・3運動+1」「よりよい愛言葉やつしろ」の実践
- ・災害に対応するための「危機管理マニュアル」の周知と訓練の充実
- ・登下校中や校内での日常的な安全指導
- ・全教育活動を通じた人権教育の実施

開かれた学校

- ・HP、学校便り・学級通信、メール等による情報発信
- ・家庭（PTA）との連携
- 令和7年度スローガン「 楽笑 」
- ・地域等（住民自治協議会・学校運営協議会）との連携

本校（本市）の課題

- ①学力向上
- ②いじめ・不登校の未然防止（自己存在感の向上）
- ③基本的な生活習慣の向上

令和7年度八代市教育委員会学校教育推進の基本方向

【理念】やつしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり

基本方針：一人一人を大切に、人権尊重の精神に立った学校をつくる

4つの重点努力事項

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健やかな体の育成
- ④「チームとしての学校づくり」「地域とともにある学校づくり」の推進

熊本県教育大綱

・第4期熊本県教育振興基本計画

【基本理念】自ら可能性を拡げ、未来を切り拓く  
熊本の人づくり

- ・熊本県教育委員会 各課取組の方向
- ・八代教育事務所取組の重点